おおあらい
第39号
発行所 大洗町役場
発行人 加藤 清
印刷所 新いばらきタイムス社
TEL水戸②5191代

新年度予算（水道 国保会計を含む）

6億9千7百174千円

良いくらし良い町づくり目標に

加藤町長新年度予算編成方針を説明

昭和四十一年度予算のほか十三案件を審議する第三回定例町議会は、去る三月十四日開催されました。本議会は三月二十六日まで十三日間に亘って審議の結果、全議案を原案通り可決となりました。本会議第一日は新年度予算を除く、条例改正、補正予算等の審議を終了散会、第二日目午前一杯、加藤町長より新年度予算編成についての説明が別掲の通り行なわれ、午後から翌十六日まで各課長より内容説明ののち十七、十八の両日にまたがり議案および行政についての一般質疑が真剣に行われ新予算については、各常任委員会に付託され十九日以降委員会ごとに各部門別に内容の検討がなされたあと二十六日再会の本会議において原案通り可決されました。

新年度は一般会計で 五億五千一〇八千円、水道特別で 九千九百七十四五千円 国補特別会計で九千二百三十二千円、合計六億九千七百一七四千円 となり町 としては最高 の予算規模となりました。【町】

一、新町建設の理想

只今から新年度予算編成方針について説明をいたしたいと存じます。

私達は日夜 新しい町づくりに邁進しておりますが、一体その目標は何んであるかということであります。言葉を換えれば、私達の持っている理想であります。考え方は いろいろありますが、まず「くらしをよくして、住みよい町をつくる」ということが到達すべき目標であり理想であると私は思っております。それにはどうしたらよいか、第一に考えられることは、産業と観光と調和のとれた近代都市をつくるということであります。具体的に申し上げますと産業面からいえば、私達は現在町を挙げて大洗港の建設を進めておりますが、これは水産業の振興上絶対欠くべからざる ものであります。なお近代産業施設として夏海地区に原研の建設が進み、大貫地区に住宅団地が決定しておりますが、食糧その他農産物の消費力地帯として将来性を持つものと信じております。商工業振興対策としては、それが生産と消費との流通部門を受け持つものであり、町の基幹産業と観光の伸展による購買力の培養と、意欲的な販売政策によって、徐々に力強く前進を図って参りたいと思っております。

観光につきましては年々開発が進んできておりますがまだまだ未利用の資源もかなりあると思います。例えば大洗海岸から祝町海岸に至る地帯、磐船山一帯・お台場周辺、大貫海岸から夏海海岸一帯涸沼川流域と涸沼を望む台地等はこれからであり、開発の方法によりましては、私はまことに期待のもてる地点であると思っております。

特に産業と観光を含む町全体にての内外交通整備計画がいま将に着々と実行にうつされておることは非常に力強く感ぜられます。例えば旭村境から大貫までの第一期バイパス線は本年度舗装が完了し第二期に入った延長工事即ち大貫台地から涸沼川を渡って、水戸ー大洗線に接続する路線は、本年度土地買収が始まる予定であり、県営工事として計画された。大洗バイパス線即ち幅員十六米の路線は四十年度の土地買収が終わり本年度は全路線の買収に入る予定であります。

なお懸案の国鉄鹿島線につきましては路線に問題がありますので今後随時説明懇談を持ちながら解決してゆく考えであります。

こうして地域経済開発を進めてゆく場合、同時に考えなければならぬ問題がある。それが第二に私どものいわんとする生活の周辺を整備して住みよい環境をつくるということであります。即ち本年度は 生活道路とも いうべき町内の主要道路の 整備を 図ってゆきたい。今日まで毎年負担金を出して実施してきた国県道もようやく見通しがついたので ことしから町道の舗装と下水の整備に手をつけてゆきたいと考えております。勿論単年度ではむずかしいと思いますので、年次計画を樹てているわけであります。

また一中の防音工事は本年度継続事業でありますし、特に磯小が新しく始まる見込みであります。

その他町営住宅は本年度も新しく十七戸分建てまして町民の皆さんに利用して貰う考えであり、衛生センターの施設は本年度継続で完了の 運びになる 予定であります。

特別会計のうち水道は主要な計画配管を進めつつ本年度は流末給水に重点を注ぐ方針であり、国保は本年一月から被保険者全員七割給付に切り替えましたので、この運営を円滑に進めてゆく考えであります。なお防災については本町の立地条件に鑑み 私ども以前から重点的に考えて来ておるわけですが幸いにして陸上の方は大きな火災事故もなく、町の消防団が本県で十年振りの国家表彰を受けた次第であります。ただ海の方では昨年台風以来高潮の浸しょくがひどく、私ども絶えず陳情運動をやってきたわけですが、国でもその必要性を認め予算五千万円で現在の防潮堤からさらに南へ四百六十米の延長工事が決まり、着々と実行されております。その他大貫海岸に船曳場と海水浴場を確保するため特に絶堤六本を出すことに内定し、先日県の予算一千万円が内定した次第であります。

ここで一つ問題になるのは、庁舎の建設であります。最近町民の中からも一体庁舎はいつ建てるのかという質問をしばしば受けておりますが、何しろ港湾、学校、道路、水道、住宅等毎年緊急なものの建設に追われ、財政的にもなかなか間に合わないのであります。しかし庁舎は住民に対するサービスセンターでもありますので、本年度はまず土地を決定し、来年度建設をすべく計画をすすめております。起債の関係もありますので予算措置は三年間位にまたがるかと思います。

経済開発と並んでいま申し上げましたような社会開発が行なわれてはじめてよい町づくりができるわけであり、従って町の予算はこういう基本的な考え方から計画され裏づけられなければならないと信じます。

二、新年度予算の重点事業

新年度の予算規模は一般会計五億五百十万八千円で昨年度三億二千六百十万八千円に比べると一億七千九百万円の増であり、これは五十四%の伸びであります。なぜこんなに飛躍したかというと、本年度予算のうち約一億九千三百万円が教育費であり、これは総予算の約四十%に当たり、そのうち約一億五千四百万円が防音教室工事の事業費であります。これをみれば本年度予算の重点の一つはまず学校で あるということが できます。

防音教室工事は継続事業として一中の建設費が一億百四十万円、新規事業として磯小の建設費が五千二百八十五万円であります。

次に継続的事業として大洗港の国補事業一億二千万円、町の負担は二千四百万円であますが、これによって東防波堤と西防波堤の延長をできるだけすすめ、来年度全面的に埋立てを実施する予定であります。

なお主要町路の舗補と下水の整備は、本年度の重点事業として、二千三百九十八万円を計上いたしました。大体三カ年くらいの計画で整備を図りたいと思っております。

こうした重点事業を中心として農林水産費は昨年度より十八%増の二千 七百八十万四千円を 計上し、農業経営と水産業経営の近代化を図る方針であり、商工費は昨年度より十五%増の九百二十五万九千円を計上して、商工と観光の振興を促進してゆく考えであります。

三、新予算の分析とその主な内容

まず歳出であります。その主な事業は前に申し上げましたが、経常費と事業費とを分析してみますと、経常費のうち人件費が一億二百二十八万三千円、昨年度より十二%の増でありまして、これは常勤、非常勤一切を含んで おります。物件費が四千五百八十五万五千円、昨年度より二・八%の増、その他負担金、補助金、交付金など二千二百三十八万一千円、これは前年度に比べて九%の増でありまして、この合計は一億八千二百六十二万三千円であります。

継続的事業費というのは港湾、学校、住宅、町道整備、衛生および水道、国保への繰出金など合計で一億八千三百三十六万一千円、新規事業としては、町道整備、防音工事、新庁舎建設積立金等を含み、合計九千六百八十三万円、総計で四億六千二百七十八万四千円その他の経費を合わせますと五億五百十万八千円となるわけであります。

新予算の編成で一番苦しみましたのはこれに見合う財源の確保であります。まず町税が五千七百五十一万円、これは昨年度より十四%の増、交付税は八千五百万円、これは五%の増でありまして、この合計一億四千二百五十万円が一般財源であります。次に特定財源として、国と県の支出金即ち経常的に来るもの例えば民生、教育その他で千五百六万円、事業的に来るもの防音、住宅等一億五千五百二十九万四千円で合計一億七千三十五万四千円であります。

この他に起債として港湾千二百万円、住宅三百二十万円、合計一千六百二十万円であります。

以上申し上げました三つを総計いたしますと、三億三千九百六万四千円でどうしても一億五千万円ほど不足いたします。これをどうするかということが、こんどの予算編成の上で最大の苦しみでありました。勿論学校も道路も水道も住宅も、思い切って縮減すればできるわけですが、町の現状と将来を考えた場合、今の中に整備を図っておかなければ、悔を千載に残すことは明らかであります。例えば道路一つを考えましても、今の中にバイパスを作っておかなければ町の交通は恐らくマヒしてしまうであろうし、また水道にしても町内いたるところ水の苦しみをなめている以上、万難を排してこの解決に当たらなければならない。まして観光地で年間何百万人の来客がある 現在では 尚更であります。学校にしても国が九割まで補助してくれる防音工事は教育上百年の大計でありまして、できるだけ実行してゆきたいと念願しておるわけであります。

こうした情勢を考えて私は、本年度は思いきった成長予算を決断した次第であります。しかしそれにしても起債を除いて私達が政府のように建設公債は発行できませんし、また金融機関より一時借り入れても、年度内に返済せねばならず返済できなければ赤字となりますので、これまたとるべきではありません。全くの自力で不足財源を賄ってゆかねばならないわけであります。

幸いなことに私達は先祖の遺産である町有地を多く持っております。私の代になりましてから昭和三十一年大貫前原山に七万坪の土地を営林局より払い下げ大分増えております。特にゴルフ場へは十八万坪貸してありますし、丁度ことしの三月が地代の 改訂期に当たりましたので、昨年から総務常任委員会とともに交渉に入り、いろいろいきさつはありましたが、大体両者の意見が合意に達しました。即ち現在の地代年間五百五十万円を 約倍額の 一千百万円にする。貸与期間は、十年間とするも地代は五年目に更新する。新町建設協力負担金として一億円を町に納付する。地代五年分と合せて一億五千万円を昭和四十年度四十一年度の二年間に前納する、という内容のものであります。ゴルフ場側も町の建設には大部協力してくれたわけであります。

これを不足財源に充ててこのむずかしい財政際を乗り切る方針をたてました。しかし来年度のこともありますので、一億円の中から七千万円、土地貸付料の中から千五百万円だけ本年度の財源に充て残り六千五百九十万円は磐船山の町有地六千坪、これは大体簡易保険の保養所として有力でありますが、この土地代と大洗に持っております三千坪の敷地を開発してこれの土地代とを見込んだ次第であります。

四、財政の現状と将來

いまま申し上げましたように本年度予算の性格はまさに成長予算であります。国でも成長予算か安定予算かということで大分議論があり、結局七千億の国債を財源として成長予算の性格をもつことになったと思いますが、私どもの予算も一般会計だけで、歳出は五億を超し、これに見合う一般財源としては一億五千万円、全く三割自治であります。

実際問題としては三億内至三億五千万円程度の予算が安定予算であると思いますが、先程申し上げましたように現在おかれている町の発展段階に対応するためにはどうしても成長予算を組まざるを得ないわけであります。

ただ極力注意することは、できるだけ早い機会に安定予算に持ってゆくことだと思います。財政の均衡を図ってゆくということは、今後私どもに与えられた大きな課題でありましょう。

それでは具体的に御手許に配付してありますプリントの数字によって町の町政即ち現在の起債高と町有財産の現況を申し上げたいと思います。現在の起債高と町有財産の現況を申し上げたいと思います。現在の起債高は本年度の分を入れまして一億三千二百九十三万三千円であり、本年度の償還額は千二百十万四千円であります。なお起債には限度がありまして無制限にできるものではありません。

先程申し上げました一般財源即ち一億四千二百十万円の二十%即ち二千八百五十万二千円の償還額

（二めんにつづく）

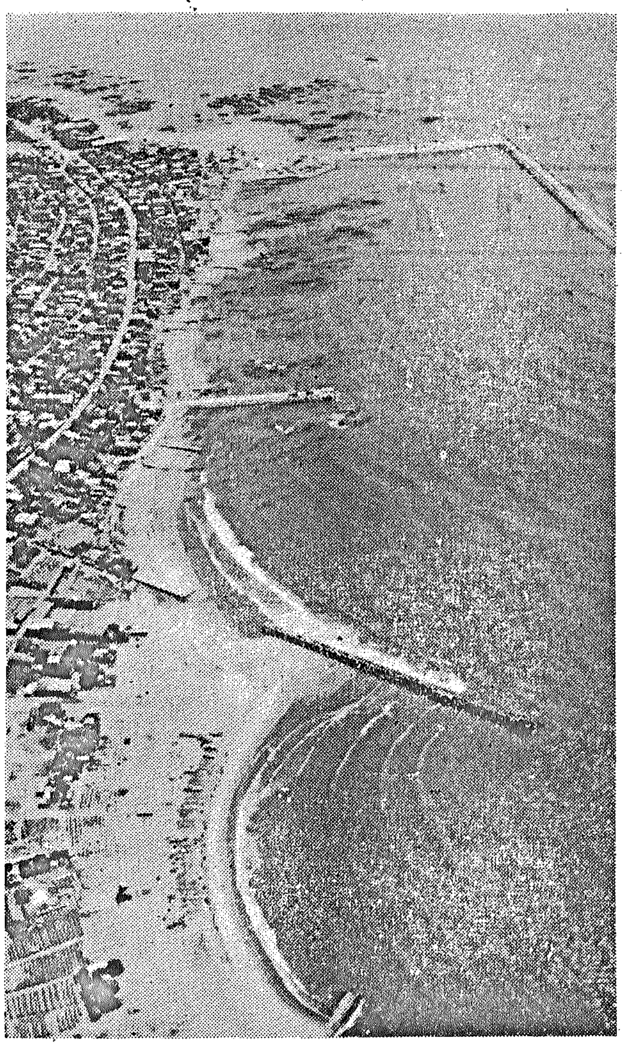
納税は期限内に

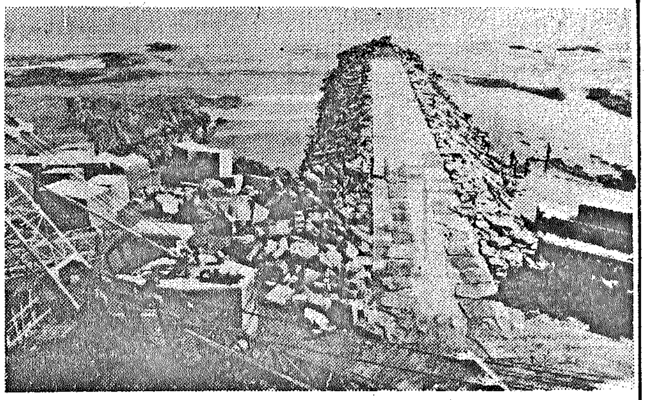
海岸の浸しよくを防ぐ
突堤六本の新設工事
一千万円の事業費で

ここ数年来太平洋の沿岸一帯は次第に侵しよくされ、各地で予想もしない被害が発生していることは、皆さんも御承知かと思いますわが大洗町でもその例にもれず、年毎に海岸の侵しよくひどくなっています。特に西防波堤から東より大貫海岸にかけては、以前相当広かった砂原がいまではほどんとなくなって了い、一寸海が荒れるとパラペット護岸にまで波が押し寄せる有様です。このため漁船の曳場に困るような事態が発生し、大騒ぎをおこしたりしています。町ではこうした実情を県当局につぶさに陳情していましたが、昨年度において、大洗観光ホテルのすぐ下に県営事業として試験的に突堤一本を出してみましたところすぐ砂がつきはじめ船曳場もできあがり多大の成果を収めています。今年度ではこの実績にもとづき県営事業で、大貫海岸から東へ六本の突堤を一〇〇米間かくに出すことになりました。昭和四十二年度でもこの他数本造られる予定になっています。

ことしの工事費総題一千万円で国がその二分の一、県が三十万の十三、町が三十分の二の六六万六千円を負担することになっています突堤の長さは何れも四十二米です。着工は五月下旬か六月上旬の予定で、できれば海水浴の季節までに間に合うようにしたいと、県では準備をすすめています。

（写真はでき上つた試験突堤）





大洗港の建設
西防波堤一〇〇米完成
ことしの事業費
一億四千六百万円

昭和三十六年に着工した大洗港の建設工事は、いままでに大きな災害もなく、極めて順調にすすんでいます昭和四十年度で、丁度五年目を終ったわけですが、すでに完成したのは次のとおりであります。

東防波堤　二六五米（波返しを含む）
南防波堤　三三〇米
仮護岸　三五一米五
埋立地　二六、六〇〇平方米（八、〇四一坪）
西防波堤　一〇〇米

そして五年間に投下した工事費の総題は、四億一千百五十万円にのぼっています。

ことし（昭和四十一年度）の建設計画工事は、南防波堤一〇四米（直線五十六米、更に南方へ曲る分四十八米）の延長と、西防波堤が八十七米延びることになっています。この事業費は一億四千六百万円です。着工以来の工事費総題は五億六千七百五十万円となるわけです。（写真上はヘリコプターで撮影した大洗港の全景と右は西防波堤の現況）

《写真は完成した防音教室》

一中防音教室改築工事
第一期工事終る
鉄筋教室で喜んで勉強

大洗町立第一中学校防音改築の第一期工事は、昨年十二月二十三日着工以来、鹿島建設株式会社の手によって建設を急いでいましたが、去る三月三十一日写真のように立派にでき上りました。

この教室は米空軍機F一〇五D機の飛来による騒音のため生徒の勉強に大きな支障をきたしていましたので、昨年国の防衛庁に何回か改築の陳情を重ねた結果、やっと承認を受けることができて、九割の国費の補助を貰い、防音装置を取り付けた特殊な鉄筋コンクリートの教室です。第一期分として十二教室ができ上ったわけです。

延坪数は三三六坪、三階建でこの総工事費は三千五百三十一万七千円です。新学期より十二クラスがここで勉強をはじめていますが、飛行機の爆音にわざわいされず静かな環境の中で落着いて勉強ができるようになり生徒は大喜びです

引続き今年度には第二期工事として一中に更に十八教室が建てられ全教室が完全な防音の鉄筋コンクリート教室に改築される予定です

それと磯浜小学校でも同様に今年度から年次計画でやはり全校舎が防音教室に改築されることになっています。新年度にはその第一期分として九教室が建設されることになる見込みです。今年度の防音教室の総工事費は一中、磯小合せて約一億五千万円の巨額にのぼっています。

（一めんよりつづく）

までは認められるので、私どもではなお公債償還金の支出は千六百三十九万八千円の余裕があるわけであります。

町有財産としてはまず土地でありますが行政財産を別として、利用できる一般財産としての土地は総計三十万二千五百九十坪であります。しかしこの中にはゴルフ場の敷地のように貸与してあるものもあるので、実際利用でき得るものは、十二万二千五百九十坪であります。なおある年限が経てば恐らく分譲できることと思いますが町営住宅は総計で百十五戸に達しております。

これがありのままの財政の実態でありますが、さて将来の見通しはどうかということであります。

まず最大の歳入源である税収を考えた場合、四十二年四十三年まではそう大きな収入は見込めず四十四年になってはじめて原研の固定資産税が期待できるし、大洗港も四十四年度は第一期が完成しますので、船舶の入港税がくるはずであります。それにしてもここ当分はやっぱり苦際の道であり自力で切り抜けてゆかねばなりません。

地方財政の窮乏は今日はじまったわけではなく、現在のままでは三割自治から二割自治へ追いつめられる公算が強く出て来ております これは全国的傾向でありまして、根本的には地方に対する国の財源措置なくして解決はできない問題であります。しかしそれだからといって私たちの愛する町を一日も早く豊かにし、住みよくする努力を怠ることはできません。未来への美しいビジョンを失わず、しかも現実的には財政の規模と開発の分量とを絶えず念頭におきながら前進する心算であります。

五、利益社会より共同社会へ

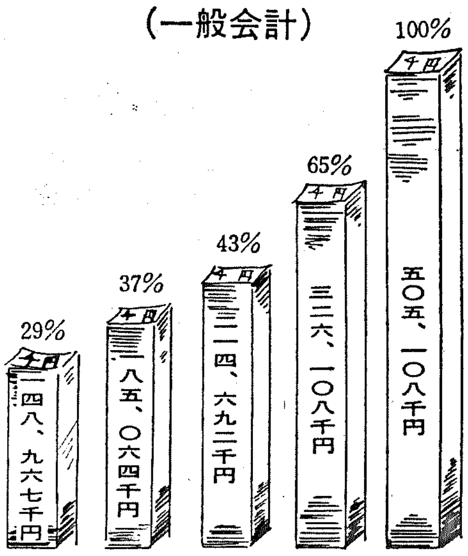
社会科学的に言えば、現代は利益社会であるといわれています。勿論利害関係は、個人個人の生活にとって現実的、切実的なものであることは確かだと思いますが、しかし集団という地域社会を考えた場合、そこに調和と友愛の精神を生かした共同社会の建設がなされなければならないと思います。

たとえば私たちが海岸をきれいにする運動を提唱しても、みだりにごみを捨てるようでは、なかなか住みよい社会の建設はできないのであります。あくまでも前向きの姿勢でお互いが力を協せるところに、進歩と発展があると信じますが、この意味で特に感じましたことは町、消防団と議会とが相次いで国から表彰された事実であります。最近自治省の指示で沖縄から視察団が来るということですが、町づくりという自治の本筋を誤りなく力強く歩んでおる結果であると思います。

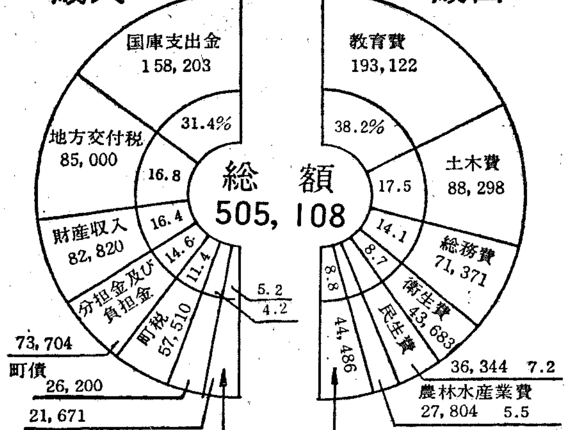
今後とも私達はあらゆる面で、あらゆる機会を利用し、たとえそれがどんなにむづかしくとも、利益社会より共同社会へと一歩一歩近ずいてゆく努力を重ねてゆきたいと思っております。

以上いろいろと申し上げましたが、充分御審議を願うと共に新年の予算執行に当たりましては、適正にしかも効率的な運用に留意することをお誓いいたし説明を終わります。

大洗町予算年度別比較表
昭和37年度から41年度　5年間
（一般会計）



昭和41年度予算一覧（単位千円）



県支出金	12,151	2.4%
使用料及び手数料	6,953	1.4
寄附金	1,305	0.2
諸収入	752	0.1
繰入金	500	0.1
繰越金	10	

議会費	12.140	2.4%
公債費	12.104	2.4
商工費	9.359	1.9
消防費	5.807	1.1
労働費	3.966	0.8
予備費	1.000	0.2
諸支出金	100	
災害復旧費	10	

最高の栄誉に輝く大洗町消防団
国家消防庁長官賞を受く

わが大洗町消防団では日頃から坂本団長を中心に、二百余名の団員が打って一丸となり、火災の予防や鎮圧に、台風や高潮時における防災作業に、そして、平素は操法訓練、機械訓練などの技術の練磨に涙ぐましい努力と精進をつづけています。

この結果は、都市同様に人家が密集している大洗町において、ここ何十年来大きな火災が発生していないこと、四方が那珂川、涸沼、太平洋に囲まれていても、大きな水害を受けずにすんでいることが、これを実証しているといえましょう。寒風身を裂く厳寒の火災期における夜を徹しての警戒に強風時、台風時等における警戒出動に家業をなげだして私達住民の生命と財産の安全を守るために命がけで東奔西走されています。

こうした尊い消防団の実績はすでに昭和二十八年に日本消防協会長賞（表彰旗）の受賞、昭和三十四年国家消防本部長賞（千頭授）の受賞、そしてまた昭和三十九年の県消防ポンプ操法競技大会では、第五分団が郡代表で出場、栄ある総合優勝（優勝旗）をなしとげ、翌昭和四十年には、第九分団が準優勝するなどによって明らかであります。

一方装備の面では、合併直後全ケ分団の機動化が実現し、水利面では全町に亘り一〇五個の貯水槽と上水道の布設に伴ない一二〇余に及ぶ消火詮が取付けられ、団員の卓越した技術とともに県下有数の施設を誇るに至っています。

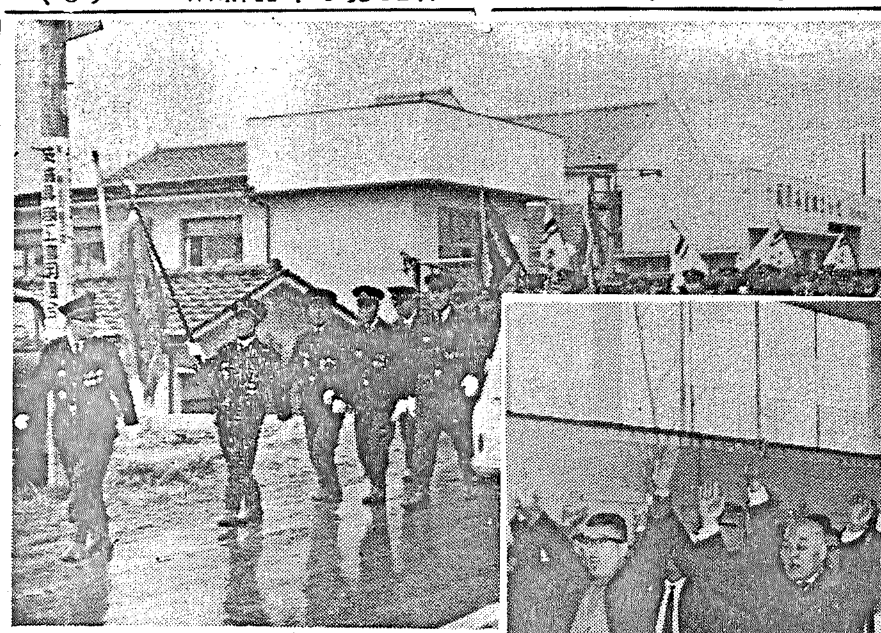
こうした我が大洗町消防団が、今回水戸市、土浦市についで本県としては実に十一年振りに栄ある国家表彰の最高栄誉に浴したわけであります。

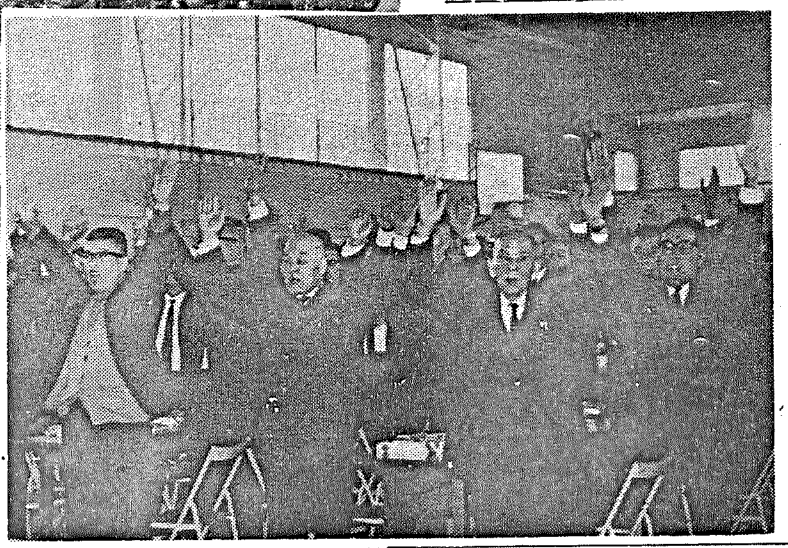
去る三月三日東京の全国消防会館において消防庁長官より、町長（助役代理出席）の手に表彰状坂本団長の手に表彰旗が授与されたのであります。

当日は午後四時二十分着。水戸駅構内では消防ポンプに分乗して全分団長が出迎え、その足で県知事に報告帰途につく。平戸橋にて全団員の出迎えを受けた表彰旗は町内目抜通りを行進し、一中グランドに到着、待期中の町長に報告が終る。皆藤副団長の音頭で「大洗町消防団万才」が三唱され、参列した者全員が、深い感激の中にその声は天も割れよとばかり四方に響き渡った。超えて三月二十五日町主催のもとに消防団関係者、町内外よりの来賓多数出席のもとに国彰受賞祝賀会が一中体育館において盛大裡に挙行され一そうの感激をあらたにしたのであります。この成果こそ決して一朝一夕になされたものではなく、これまで消防団に尽力された多くの先輩の方々の遺された伝統ある消防精神と歴史とがここに実を結んだものであります。

私達は、消防団のこの輝く栄誉のかげに火災現場や、高潮の防備作業に、身を挺して奮斗する団員の皆さんの献身的な努力、そして家族の皆さん方の深い理解と厚い援助とがあることを忘れてはならないと思います。

最高の栄誉を機会に我が大洗町消防団の一層進展と団員皆さん方の御自愛と御健斗を祈って止みません。





表彰の当日表彰旗を先頭に町内のパレード
受賞祝賀会場での万才三唱

☆☆☆☆☆☆

栄えある全国表彰受賞
大洗町議会

☆☆☆☆☆☆

大洗町の誕生を見て僅々十年余、此の間本町の目ざましい発展への変貌は、県下市町村の羨望せられるところであり、なお一層の発展が約束される大飛躍への基盤堅めの段階であり、今後の堅実なる町政の推進が期待されるところであります。

このたび、大洗町議会が、地方自治の本旨に添った議会運営の向上と、住民福祉の増進とによる優良議会として、全国町村議会議長会長より栄誉ある全国表彰を受けましたが、これも偏に町民の皆さんの深い御理解と御支援による円滑なる町政執行がなされた結果であり、且つ議会人諸先輩の営々として築かれた実績によるものが大であったことと確信いたします。

このたびの受賞を機に、町執行部と町議会がより一層緊密なる提携のもとに理想郷建設に邁進すべく決意を新たにするものであります。

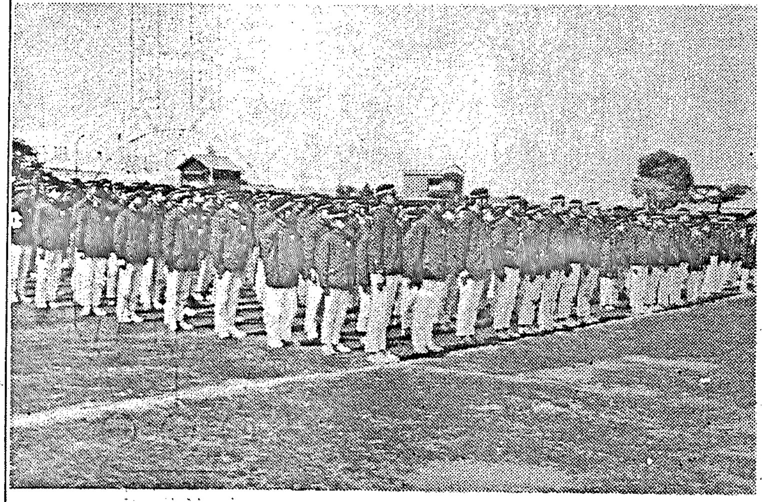
親子そろって国彰受賞
一中少年消防団でも

昭和三十六年五月に発足した大洗町立第一中学校少年消防団では県の防災課や親消防団にあたる町の消防団などの適切な指導や助言を受けながらすくすくと成長しています。

少年消防団の任務は、防火思想の普及規律訓練、火災時における退避訓練などでありますが、校長先生をはじめ担任の先生方の熱心な指導のもとに、全生徒一、〇三四名の少年消防団員は、清水団長を中心に平常より努力を重ねております。去る四月十八日新しく一年生を迎える入団式が、一中グラウンドで挙行されました。そのときの団員の規律は実に立派なものであり、分列行進なぞは親消防団が顔負けするほどで、来賓の方々もビックリしていました。

少年消防団では毎月行事予定をたてて、防火思想の啓発、カマドの検査や、火災に関するいろいろな調査などを実施し、いずれも優秀な成績をあげています。こうした努力は県の認めるところとなり去る昭和四十年九月にはじめて茨城県知事より表彰を受けましたがことしの三月には親消防団と共に同じく国家消防庁長官より表彰され立派な「タテ」を贈られました我が大洗町では親子そろって国より栄ある表彰を受けたわけで全国でも珍らしいことであるそうです

町民皆さん方の一そうの御支援と御協力をお願い申し上げます。



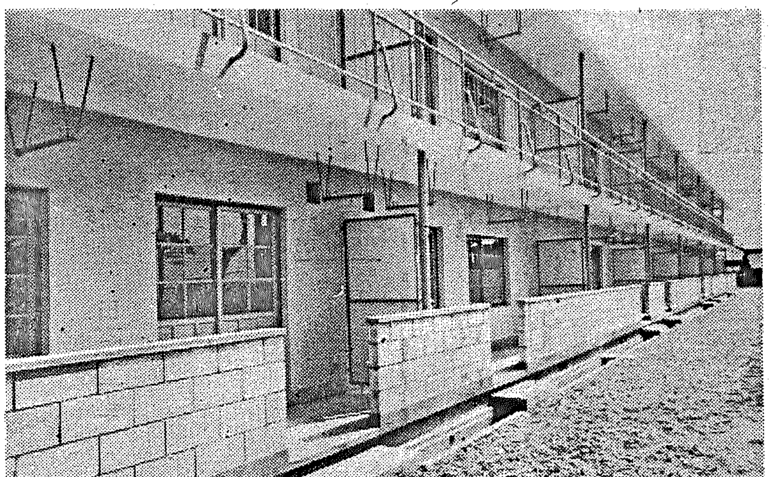
（入団式で勢ぞろいの少年消防団）

ー昭和四十年度の建設事業ー
相ついで完工
四月十三日に合同竣工式

昭和四十年度を起点としてさきに策定された新町建設五ケ年計画の第一年目に当る昭和四十年度の計画事業即ち、南中学校の特別教室増築工事、大貫前原用地内に建設された十二戸のプレハブ住宅、ならびに県下ではじめての事業として斯界の注目をあつめた、磯浜地区八ツ峯の高台に建てられた、船員アパート十六戸、およびさきに竣工をみた夏海地区上水道浄水場に新設された水道管理人室などの工事がぞくぞくと竣工しました町では去る四月十三日、町や議会議員、関係者の人達を招いてこれらの施設の出来上りを見学してもらいました。参加された皆さんは近代的で立派にでき上った建物をしみじみと見学し、誰もが感嘆の声をもらしていました。

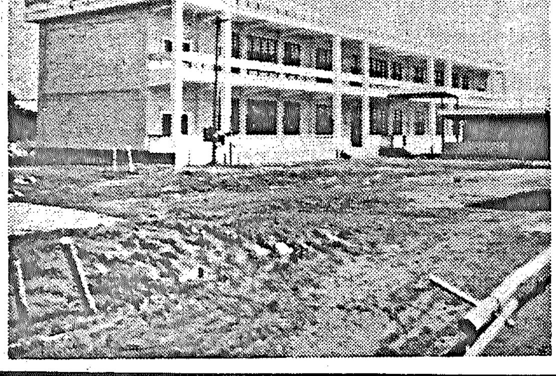
船員アパート

構造	補強コンクリートブロック造（簡耐）　2階建
規模	1階　8戸　2階　8戸　計16戸
	1戸当面積　50,04平米（15·15坪）
	延面積　800·64平米（242·56坪）
着工	40年11月10日　竣工　40年11月30日
工事費	15,918,000円
工事請負者	鈴縫工業株式会社



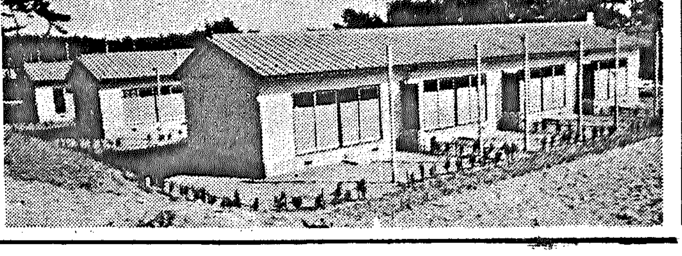
学校特別教室

構造	鉄筋コンクリート造　2階建　1棟
延面積	925·75平米（293坪）
室の構成	1階　理科室　1　技術室　2
	階段室　1　テラス　1
	2階　音楽室　1　家庭室　2
	階段室　1　バルコーニ　1
着工	40年9月21日　竣工　41年3月31日
工事費	24,630,000円
工事請負者	安藤建設株式会社



プレハブ住宅

構造	簡易耐火構造平家建（量産住宅）
規模	4戸建　3棟　計12戸
	1戸当り　31·47平米（9·52坪）
	延面積　377·64平米（114·24平米
着工	40年9月17日
竣工	40年10月11日
工事費	6,917,000円
工事請負者	早川建設株式会社



元副議長久保木さん逝去

自治功労により従六位勲五等に叙さる

元大洗町議会副議長をつとめられ前回の改選の際健康上の都合で退任された久保木清さん（磯浜町髭釜町）は去る四月二十一日永眠されました。

久保木さんは昭和四年旧磯浜町議会議員に選ばれてからやめられるまで実に三十五年間、町発展のため献身的な精進を続けられ殊に漁業振興のためには磯浜築港の実現、大洗港の建設などに全力をつくされる一方、昭和七年方面委員同十七年司法保護委員などを拝命生来の誠意と温情をもって家業を忘れて奔走し、困っている人達のよき相談相手として、これらの人達からは慈父のように慕われていました。また大正十四年当時町の納税成績が芳しくないことを心配し、率先納税貯蓄組合を組織し納税意欲の昂揚に努力された甲斐あってこれを範としてぞくぞくと町内に組合が誕生し昭和六年には全町にわたって納税組合が発足したことは真に久保木さんの愛町精神の発露と申すべきであります。

その他農地改革の施行に際しては農地委員としてこれに参画し、また町村合併に当っては委員の一人としてむずかしい諸問題の解決に尽力されるなど、町政に寄せられた甚大な功績は誰もが認めるところであります。生前のこうした多くの功績は国の知るところとなり昭和三十八年九月に池田総理大臣より栄ある藍綬褒賞の受賞となって現われたのでした。

議会議員を退職されてからも町を愛する心は変わりなく大洗第一中学校の体育館建設に際しては、建設資金の一部にと私財百万円を寄贈され町民感謝の的となりました。最近に至り健康すぐれず自宅にて専ら静養に努められておられましたが、遂に四月二十一日他界されたので あります、かかる久保木さんの地方自治振興につくされた抜群の功績は高く評価され、賞勲局より従六位勲五等に叙せられたのであります。

地下にねむれる久保木さんもどんなにか喜ばれていること存じ謹んで御祝いを申上げ、御冥福をお祈り申上げます。

勲六等宝冠章に輝く

重実恵泉保育園長さん

四月二十九日政府は春の叙勲者の氏名を発表しました。全国で二千八百六名うち、社会福祉事業関係は五十六名の方が叙勲され、我が大洗町より大貫町、恵泉保育園長重実いちさん（七七才）が社会福祉事業功労者として勲六等宝冠章の栄えの名誉をうけられました。

重実いちさんは、昭和十二年大貫保育園を開設、以来園長として精進努力、設備内容を逐次充実し深い愛情をもって幼児保育の向上に献身的な活動をなされ児童福祉増進のために寄与されました。

また、昭和十六年〜二十九年まで方面委員、民生委員として、児童問題に強い関心をもたれ、特に夫婦共稼ぎの多い海浜地区の児童の保育、青少年の不良化防止、健全育成、子供会の指導及び低所得世帯の福祉の向上に努力されました。昭和二十四年五月十日知事表彰（児童福祉事業功績）

昭和三十九年十一月二日厚生大臣表彰（児童福祉事業功績）

町民税控除の引上げと固定資産税免税点の引上げ

「町民税」の従来の各種控除は、昭和三十七年度に改定されていらい、そのまま据え置かれていたため、控除の引上げによる減税の要請がたかかったので今国会で改正されたものです。その主な点は次の通りです。

【町税改正の要点】

（イ）基礎控除が十万円（前年は九万円）に引き上げられた

（ロ）配偶者控除を設けその控除額を八万円とされた。

1、控除対象配偶者がない場合扶養親族のうち一人については七万円（前年七万円）

2、配偶者の前年の所得金額が五万円をこえる場合扶養親族のうち一人については六万円（前年五万円）

3、その他の扶養親族一人につき四万円（前年三万円）

（ニ）専従者控除の控除限度額を青色申告者各専従者につき十万円（前年八万円）に白色申告者の各専従者につき六万円（前年五万円）にそれぞれ引き上げられた。

以上のほか給与所得控除の引上げ等もありますので国の計算では住民税の課税最低限は給与所得者の場合標準世帯（夫婦子三人）で昭和四十年度は三四七、一八六円でしたが昭和四十一年度は四三三、〇一六円となりました。町民税は大分減税になったわけですが右の改正に伴い個人の県民税の調整税額控除が廃止されますので県民税は若干増税となります。

「固定資産税」の免税点が引き上げられ、土地が八万円（前年二万四千円）家屋が五万円（前年三万円）償却資産三十万円（前年十五万円）となりましたので従来まで課税されていても免税点以下になって賦課されない方もあります。また固定資産税の課税標準となる土地の価格はさきの固定資産税納税通知書に添付した説明書にありました様に、税の負担が急にふえないように今回の改正による負担調整によって、大洗町では前年度の宅地は一・二倍農地以外の土地は一・一倍に止められました。

なお、ご不明の点がありましたら税務課までお尋ね下さるようお願いします。

“豚コレラを防ぐために”

四十一年九月から予防注射実施方式が変ります。

豚コレラ年年々県下に多発している恐ろしい伝染病です。

流行の原因を調べてみますと、未注射豚の買い入れや、病豚の移動がその大半です。

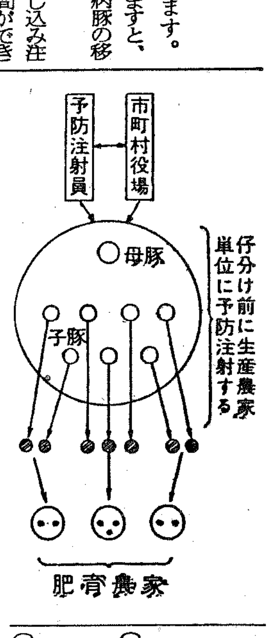
今までの定期注射や申し込み注射では注射実施の空白期間ができ多くの子豚は予防注射されないまま飼われたり、販売され、ひとたび豚コレラが発生したら全滅の惨害をうけてしまいます。今度このような未注射豚をなくすため、新しい予防注射のやり方『指名注射方式』に改めることになりました。

その方法は種雄豚所有者（おす豚）から種付した生産農家（めす豚）の報告をうけ、子豚生産農家には、あらかじめ予防注射月日を連絡して子豚の日令が五〇日〜五五日の間に生産者段階で注射することになります。したがって子分け後の予防注射は原則として行ないません。なお母豚は子豚と一緒に年一回予防注射をします。

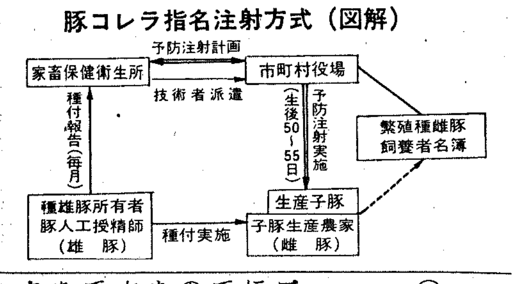
子豚生産者もその後肥育を行なう人も、お互いに安心して豚を飼うことができるよう、必らず予防注射済で予防注射後二週間以上たった子豚を販売したり、導入するよう養豚関係者の協力をお願いします。

四十一年八月までは準備期間として従来の方法で予防注射を行ないますが、九月以降の注射（四月以降の種付分）はこの指名注射方式により実施します。

なお指名注射方式関係を図解すると下図のとおりです。



豚コレラ指名注射方式（図解）

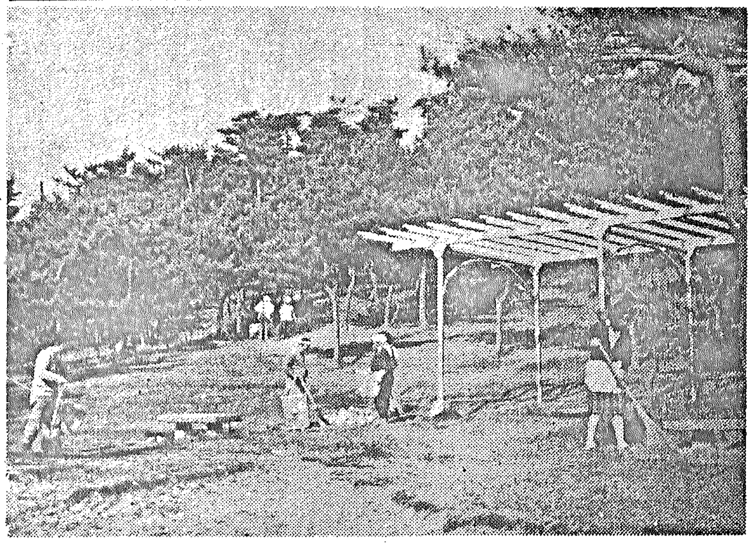


海岸の防災工事はじまる

昨年十月台風に伴う高潮で、大貫海岸（防災護岸のなくなっている地点）が非常な危険にさらされ消防団や地元関係住民の協力で最少限に被害を喰いとめることができましたが、将来に備え完璧の施設をする必要があるので、町では県とともに建設省に幾たびか陳情を重ねた結果、国営事業として採たくされ、パラペットによる護岸工事を更に四六〇米延長することとなり、既に工事が進められています。工事費は総額五千万円ですが、全額国費でやってくれるわけです。関係住民の皆さんもさぞかし喜んでいることでしょう。

訪れるお客さんに心からの贈りもの

大洗宮下美化運動朝の会



最近各方面の観光地で観光地美化運動の声が叫ばれております。大洗町でも観光地大洗を、地元の人達の手できれいにしようという気運が高まり、大洗宮下の方々がいろいろと相談した結果、大洗宮下美化運動朝の会が誕生しました。この会は会員五十名でつくられ、大洗宮下、公園内、海岸一帯を毎月五日と二十日を清掃の日と定め、会員出動して清掃奉仕をすることになりました。早速去る五月五日早朝から手に手に、ほうきスコップなどを持って集合第一回の清掃を実施しました。

散乱していた紙くずやゴミなどたちまち片づけられ、あちこちでゴミを燃やす白煙りが幾すじも立ちのぼり、会員皆さんは公けのために、ひたいに汗を流して働いたあとのすがすがしい朝の一ときを味いました。

こうした美しい心で結ばれたこの会が益々発展されますことを衷心より念願してやみません、と同時に天下に誇る大洗の観光地を、町ぐるみで愛し育てあげるべく、みんなで一層協力しようではありませんか。（写真は清掃に励む会員の人達）

つぎつぎ誕生　楽しい老人クラブ

○一月二十日大船会
会長　田山銀之助氏（大貫舟渡地区、会員四十五名）

○三月九日　角寿会
会長　大西俊明氏（大貫角一地区、会員四十五名）

○四月十六日　明寿会
会長　溝口邦男氏（磯浜明神町七区〜十区地区、会員六十名）

これで本町には七ツの老人クラブが誕生しました。なお、近日中に大貫地区にいくつかのクラブができる予定であり、目下、世話人の方々にお骨折をいただいております。町におきましても、磯浜、大貫、夏海の町内に老人クラブができましたので六月には本町全体を一つとした連合組織をつくり各クラブの運営指導に当ってゆきたいと思っています。今後とも皆さんの暖い御支援と御協力をお願いいたします。また、今回のクラブ結成に当り各地区の民生委員、嘱託員の方々の御協力に対し厚く御礼申しあげます。

家庭教育学級開設のおしらせ

教育委員会では、各校のPTAと協力して、昨年からつぎのようなことについて学習会を開いております。

1、家庭での父母の役割り。
2、家族の人間関係。
3、こどもの個性と能力はどうしてのばすか。
4、明るい家庭をつくろう。
5、こどもの成長過程—「からだ」と「心理」

本年は、磯浜小、大貫小が文部省の指定学級となり六月からはじまります。この機会を、ぜひご活用下さい。詳しくは、教育委員会又は磯浜小、大貫小へお問合わせ下さい。

日本赤十字募金

目標額二十九万五千円

本年も五月一日より三十一日まで全国的に赤十字募金運動が展開されています。今年の本町の目標額は二十九万五千四百円で昨年より五千円あまり減額しましたが、この物価高の折目標額達成はなかなか困難ではないかと思い、皆様の特段の御協力をお願いいたします。

募金方法は、嘱託員さんを通じみなさんのご家庭を訪問し募金をいただくことになっております。こうして集められたお金は献血推進事業、災害救助奉仕事業の推進など数々の日赤事業に使用されることになっています。

また、日赤募金は社費というかたちで集められますから左記の事項に該当する場合は、日赤より社員章が贈られますから役場民生係までご連絡下さい。

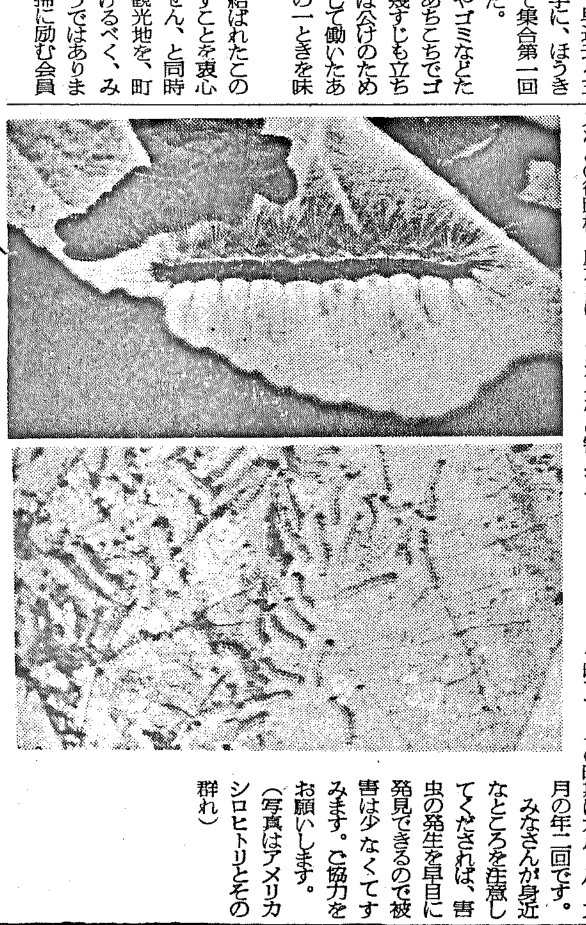
1、有功章社員
金色有功章（十万円以上）
章銀有功章（五万円以上）

2、特別社員章（門標）
金色特別社員（一時に一万円以上若しくは毎年千円づつ十年納付済の場合など）
章銀特別社員（一時に三千円以上若しくは毎年三〇〇円づつ十年納付済の場合など）

3、正社員章（毎年百円以上を納付する方にアルミ製門標）

以上は個人、法人共通ですから、該金額を納付したと思われる場合はご遠慮なく係までお申出下さい。

アメリカシロヒトリを駆除しよう



アメリカシロヒトリは小さな白いガの一種で、サクラ、プラタナスなどの街路樹、庭木をはじめクワ ナシ、カキ、などの農作物まで手あたりしだいに食い荒らす雑食性の害虫です。

昨年は全国的に大変な被害をうけました。本町でも東光台と西光院附近に発生しましたので、本年は大発生が予想されます。

この害虫を駆除するには若い幼虫の群がっている巣を枝ごと切りとって焼き捨てることが一番効果的です。その時期は六月と八〜九月の年二回です。

みなさんが身近なところを注意してくだされば、害虫の発生を早目に発見できるので被害は少なくてすみます。ご協力をお願いします。

（写真はアメリカシロヒトリとその群れ）